

読みたくなる議会だよりを

7月29日(金)アイリス愛知での、第29回愛知県町村議会広報研修会に参加した。講師は、広報コンサルタントの芳野政明氏。講話では、議会だよりの目的は、住民の議会への関心を高めること、読みたくなる議会だよりづくりをすることが大切である。議事が伝わるまでが議会活動であるといわれた。

今回、豊山町は「議会だよりクリニック」にも挑戦。28年3月定例会の議会だよりを添削していただいた。講評では、課題がたくさんあり、特に、一般質問の見出しへは、何を質問したいのかわかる見出しにするべきと指摘があった。また、出来れば住民登場の企画がほしいとアドバイスがあった。

今回の研修を活かし、読みやすくわかりやすい議会だよりを目指したい。



議会用語解説

おしうて!?
地空人く~ん
第6回

監査委員【かんさいいん】

自治体の財務や事業が適切に行われているか監査するんだよん。

市町村の監査委員は、議員の中から必ず一人は選ばれるんだよん。

地空人くん

追跡

～どうなったあの質問～
平成27年9月の質問を追跡した



自転車走行のルールや安全対策徹底を

県の自転車シミュレーターを活用してはどうか。
ルールが分からない方もいる。
出前講座を考えてはどうか。

出前講座の中で啓発に努める

シミュレーターを使用した走行体験やルールが学べる。
今後は、学校、老人クラブ等に紹介する。
出前講座の「安全講話」の中で周知啓発に努める。

出前講座を実施した

夏の安全なまちづくり県民運動キャンペーンで、シミュレーターをエアポートウォーク名古屋に持ちこんで実施した。
老人クラブと全保育園を対象に、出前講座を実施した。



どうなった